



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場会社名 マミヤ・オーピー株式会社  
 コード番号 7991 URL <http://www.mamiya-op.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢崎 登  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 島田 和長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5437-2311

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	17,435	25.7	2,518	42.0	2,318	46.7	1,652	17.6
23年3月期第3四半期	13,872	17.0	1,773	45.8	1,580	33.1	1,404	45.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,720百万円 (22.0%) 23年3月期第3四半期 1,410百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	17.72	17.68
23年3月期第3四半期	15.06	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	21,830	9,954	45.4	106.74
23年3月期	19,208	8,549	44.1	90.87

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 9,900百万円 23年3月期 8,475百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	22,000	18.9	2,900	47.4	2,500	46.1	1,900	20.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	93,481,700 株	23年3月期	93,481,700 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	226,616 株	23年3月期	214,661 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	93,261,947 株	23年3月期3Q	93,271,757 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。従いまして、諸要因の変化により実際の業績等は記載事項と大きく異なる可能性があることをあらかじめご承知おきください。業績予想の背景、前提条件等につきましては、添付資料P.2「(1)連結経営成績に関する定性的情報」及びP.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により生産活動の水準が低下し失業率が高止まりするなど厳しい状況の中で幕を開けました。しかしその後、この未曾有の震災によるマイナスの影響から少しずつ脱却し、様々な下振れリスクを孕みつつも、サプライチェーンの立て直しによる生産活動の回復、各種の政策効果などを背景に、景気に緩やかな持ち直し傾向がみられる中で年末を迎えました。

このような経済環境の下で当社グループは、一連の戦略的事業再構築を通じて経営資源の選択と集中並びに事業領域の拡大を推進し、健全かつ強固な経営基盤と、持続的成長を可能とする多極的な事業構造を着実に構築してまいりました。そしてその成果の下、主力である遊技機関連事業においては、収益の柱であるOEM製品の強化による安定した収益基盤の確立に努めると共に、自社ブランド製品である紙幣識別機のバリエーション増加及びこれを搭載した新製品を開発し、人材確保・育成を行う等、新規開発の体制強化に取り組み一定の成果を挙げております。また、災害発生時における事業継続リスクを一定程度回避し、生産・供給の安定性をより高めるべく、昨年10月より子会社であるキャスコ㈱の志度工場においても、OEM製品を生産しております。

一方、スポーツ事業におきましては、内外の主要市場における個人消費が回復せず、東日本大震災による悪影響もあり厳しい状況が続いているものの、ボール・クラブ等の新製品に牽引されたキャスコ㈱の業績が底堅く、一定の売上及び営業利益を確保することができました。また、国内のシャフト事業を担ってきた㈱シャフトラボのグループ外への売却によりスポーツ事業における中核会社となったキャスコ㈱の主力製品であるグローブの収益性を向上すべく、シャフトの生産拠点であるマミヤ・オーピー（バングラデシュ）Ltd. でキャスコ・グローブの生産を開始し、安定した事業基盤の確立と一層の成長を目指しております。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は174億35百万円（前年同期比25.7%増）、営業利益は25億18百万円（前年同期比42.0%増）、経常利益は23億18百万円（前年同期比46.7%増）、四半期純利益は16億52百万円（前年同期比17.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### (電子機器事業セグメント)

電子機器事業セグメントは、期初においては、大震災の影響によるパチンコホールの広告自粛、輪番休業等による経営状態悪化と設備投資意欲減退に対する懸念等から苦戦が見込まれたものの、当四半期累計期間を通じてOEMの新製品が好調を持続すると共に、メダル貸機の販売が大幅に増加し計画を大きく上回る売上を計上しております。また、これに伴い搬送システムの販売も順調に推移し、自社製紙幣識別機の市場への浸透も進むなど、業績へのプラス要因が重なった結果、前年同期と比較して増収増益となりました。

この結果、電子機器事業セグメントの売上高は133億86百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益は24億62百万円（前年同期比36.0%増）となりました。

#### (スポーツ事業セグメント)

スポーツ事業セグメントは、東日本大震災の影響もあり、国内のゴルフ場来場者数及びゴルフ場収益が共に引き続き減少傾向にあり、また、内外の主要市場における売上減少と単価下落による利益率の低下が続いております。

このような事業環境の下で、スポーツ事業の中核会社であるキャスコ㈱の業績は、景気低迷等の影響を受けグローブ及びバッグ等の売上は減少したものの、KIRAシリーズボールの「KIRA KLENOT（キラクレノ）」、ARシリーズクラブ等の新製品、販売強化したシューズ等の順調な売上に支えられて堅調に推移し、海外におけるシャフト事業の低迷をカバーすることができ、前年同期と比較して増収増益となりました。

この結果、スポーツ事業セグメントの売上高は40億49百万円（前年同期比150.4%増）、営業利益は56百万円（前年同期は営業損失36百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は218億30百万円となり、前連結会計年度末と比べ26億22百万円増加いたしました。これは主として、商品及び製品の減少3億96百万円等があったものの、受取手形及び売掛金の増加15億65百万円及び投資有価証券の増加10億28百万円等があったことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は118億76百万円となり、前連結会計年度末と比べ12億17百万円増加いたしました。これは主として、長期借入金の減少2億94百万円等があったものの、支払手形及び買掛金の増加13億33百万円及び未払法人税等の増加3億98百万円等があったことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は99億54百万円となり、前連結会計年度末と比べ14億4百万円増加いたしました。これは主として、利益剰余金の増加13億66百万円及び為替換算調整勘定の増加62百万円等があったことによるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、東日本大震災等の影響が当初懸念した程ではなく、主力製品であるOEM機器の販売が好調を維持していること等から、平成23年3月期決算短信において見送った業績予想を平成24年3月期第1四半期決算短信において公表いたしました。さらに今般、OEM機器の販売が引き続き順調に推移し、とりわけパチスロ人気の高まりに応じたパチンコホールにおけるパチンコからパチスロへの入替需要の増大に伴いパチスロ用メダル貸機の販売が予想を大幅に上回る実績を収めたこと等から、課税所得の増加による税金費用の増大にもかかわらず、売上・利益共に平成23年8月5日に公表いたしました通期の連結業績予想数値を達成することが概ね確実となったため、当該業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日（平成24年2月8日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

### 【追加情報】

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

（法人税率の変更等による影響）

平成23年12月2日に「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が公布され、平成24年4月1日以降開始する連結会計年度より法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用される法定実効税率は、一時差異に係る解消時期に応じて以下のとおりとなります。

平成24年3月31日まで 40.69%

平成24年4月1日から平成27年3月31日 38.01%

平成27年4月1日以降 35.64%

この税率の変更により繰延税金資産の純額が15,741千円減少し、当第3四半期連結累計期間に費用計上された法人税等の金額が28,137千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,525,500	7,289,261
受取手形及び売掛金	3,443,746	5,009,200
有価証券	12,504	12,504
商品及び製品	2,071,475	1,674,579
仕掛品	415,403	430,575
原材料及び貯蔵品	774,964	895,311
繰延税金資産	109,667	190,019
その他	174,466	107,136
貸倒引当金	△23,300	△24,612
流動資産合計	13,504,429	15,583,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	515,989	493,828
機械装置及び運搬具（純額）	133,223	186,133
工具、器具及び備品（純額）	77,888	71,898
土地	867,345	584,495
リース資産（純額）	2,447	1,968
建設仮勘定	17,682	5,414
有形固定資産	1,614,576	1,343,738
無形固定資産		
のれん	1,461,142	1,320,147
その他	427,999	504,649
無形固定資産合計	1,889,141	1,824,796
投資その他の資産		
投資有価証券	1,433,351	2,462,012
繰延税金資産	302,058	131,495
その他	1,032,961	1,054,612
貸倒引当金	△568,044	△569,763
投資その他の資産合計	2,200,327	3,078,357
固定資産合計	5,704,046	6,246,892
資産合計	19,208,475	21,830,868

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,691,395	5,025,353
1年内償還予定の社債	90,000	90,000
1年内返済予定の長期借入金	1,061,168	1,315,006
短期借入金	27,000	100,000
未払法人税等	166,230	565,210
賞与引当金	51,421	34,139
その他	878,921	753,147
流動負債合計	5,966,135	7,882,856
固定負債		
社債	160,000	115,000
長期借入金	3,790,594	3,242,348
繰延税金負債	94,038	1,145
退職給付引当金	452,745	454,879
役員退職慰労引当金	93,336	61,944
その他	101,773	118,367
固定負債合計	4,692,487	3,993,685
負債合計	10,658,623	11,876,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,958,747	3,958,747
利益剰余金	4,387,350	5,753,628
自己株式	△32,115	△33,246
株主資本合計	8,313,982	9,679,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,358	30,552
為替換算調整勘定	127,983	190,683
その他の包括利益累計額合計	161,341	221,236
新株予約権	—	14,527
少数株主持分	74,528	39,434
純資産合計	8,549,852	9,954,327
負債純資産合計	19,208,475	21,830,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	13,872,267	17,435,362
売上原価	9,516,008	11,303,127
売上総利益	4,356,258	6,132,235
販売費及び一般管理費	2,582,566	3,613,457
営業利益	1,773,691	2,518,778
営業外収益		
受取利息	1,187	1,587
受取配当金	21,940	25,026
固定資産賃貸料	23,214	16,157
その他	11,723	23,697
営業外収益合計	58,065	66,469
営業外費用		
支払利息	36,198	78,667
固定資産賃貸費用	23,375	14,553
為替差損	152,633	169,358
その他	38,604	3,901
営業外費用合計	250,811	266,480
経常利益	1,580,945	2,318,767
特別利益		
固定資産売却益	163	—
貸倒引当金戻入額	2,306	—
受取補償金	—	299
特別利益合計	2,469	299
特別損失		
固定資産除売却損	27,291	108
貸倒引当金繰入額	36	—
特別退職金	—	2,542
特別損失合計	27,327	2,651
税金等調整前四半期純利益	1,556,086	2,316,415
法人税、住民税及び事業税	157,966	661,807
法人税等調整額	△6,631	△5,982
法人税等合計	151,334	655,824
少数株主損益調整前四半期純利益	1,404,752	1,660,591
少数株主利益	—	8,256
四半期純利益	1,404,752	1,652,334



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,404,752	1,660,591
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	10,322	△2,805
為替換算調整勘定	△4,384	62,700
その他の包括利益合計	5,938	59,894
四半期包括利益	1,410,690	1,720,485
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,410,690	1,712,229
少数株主に係る四半期包括利益	—	8,256

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。